

13:00~13:05 開会の辞
上原 麻有子 文学研究科教授

13:05~13:15 開会挨拶
稲葉 カヨ 理事・副学長(男女共同参画・国際・広報担当)

第一部 アジアの女性研究者による提題

司会:上原 麻有子

13:20~13:50
Kim Heisook 梨花女子大学総長
"Digital Revolution, Humanities,
and Asian Women Subject"
英・日語通訳:ギブソン松井 佳子 神田外語大学教授

Kim Heisook

13:55~14:20
三成 美保 奈良女子大学副学長/日本学術会議副会長
「アジアから問うジェンダー史 - 新しい世界史を目指して」

三成 美保

14:25~14:50
落合 恵美子 文学研究科教授
「女を生きる/社会理論をつくる - アジアの家族主義に抗して」

落合 恵美子

14:55~15:20
西郷 南海子 教育学研究科博士後期課程 大学院生
「子育てという現場から考える、アジアの民主主義と教育」

西郷 南海子

第二部 提題者とコメンテーターによる総合討論

15:30~17:20
座長:上原 麻有子

提題者
Kim Heisook、三成 美保、落合 恵美子、西郷 南海子

コメンテーター
桑山 裕喜子 ヒルデスハイム大学博士課程 大学院生、
Jin Y. Park アメリカン大学教授、村瀬 雅人 基礎物理学研究所 准教授

英・日語通訳
ギブソン松井 佳子

17:20~17:30 閉会の辞
湊 長博 プロボスト、理事・副学長

人社未来形発信ユニット 第2回全学シンポジウム

女性がつくるアジア人文学

「女性」に焦点を当てる今回のシンポジウムでは、大学で研究・教育に携わる女性たちが集まり、アジアの現代社会に潜むジェンダー関連の諸問題を明るみに出し、分析します。非西洋的な伝統をもつ社会の課題に切り込むには、非西洋起源の知が必要ではないか。家庭と大学を生きる女性研究者の視点から、アジア人文学という知の可能性を探ります。

参加費
無料
(先着順)

2019年8月23日(金) 13:00~17:30 (12:30開場)

会場 京都大学国際科学イノベーション棟5F シンポジウムホール

主催:人社未来形発信ユニット
お問い合わせ:人社未来形発信ユニット ukihss@bun.kyoto-u.ac.jp

申込方法
ホームページよりお申し込みください。
URL <https://forms.gle/URBvk75r13SaXPYX7>

